



東っ子だより

学校スローガン『挑む!』

大村市立東大村小学校
R7年度学校だより第5号
文責：校長 小川広孝
令和7年9月8日発行

2学期もみんなで前進します!

先週9月1日(月)、全校児童38人、全員揃って2学期をスタートすることができました。始業式で、子どもたちに話をする中で、まず最初に伝えたのは、『おかえり』という言葉です。子どもたちが元気に学校に戻ってきてくれたことがとても嬉しかったからです。78日間の長い2学期になりますが、みんなで一歩ずつ確かな歩みを進めていきたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様のお力添えを2学期もよろしくお願いいたします。

おかえり!



この『おかえり』という言葉には、少しばかりこだわりがあります。私の地元にある「諫早市こどもの城」に「おかえり」というオリジナル曲があります。子供一人一人の存在を認め、目の前の子供を愛する魂(気持ち)が込められている曲です。前館長の池田尚さんから子供を愛する原点を教えてもらい、共に学ばせていただきました。教師として、親としての考え方を教授いただいた思い出があります。メロディはお伝え出来ませんが、歌詞をご紹介します。 (作詞・曲:池田尚)

1 いい子にしていたよ
成績がよかったよ
試合で活躍したよ
よかったね
でももう一つ ほめてあげたい
それは、君がそこにいること
おかえり.....

2 安心できるから
挑むことができる
それが力になるよ
いつの日か
でももう一つ 応援したい
それは、失敗しても君が好き
おかえり.....

東大村小学校では、1学期に引き続き、『挑む』という学校スローガンのもと、学校教育目標『自分大すき 友だち大すき 学校大すき』を目指し、子供に自信をつける教育を進めて参ります。そのプロセスにおいて、大切にすることと、1つのお願いをさせていただきます。大切にすることは、①学校を子供たちが安心できる環境にすること②子供に自己決定の機会を与えていくことです。お願いしたいことは、各御家庭・地域でも、可能な限り子供たちに自己決定の機会を与えていただきたいということです。なぜならば、親や教師が口や手を過剰に出すことなく、常に子供に自己決定の機会を与えていくことで自己肯定感が高まり、自ずと自信と主体性が身に付いていくからです。2学期も、本校の教育活動に対しまして、御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

裏面に続きます！

木村泰子先生にご来校いただきました！

先週9月3日（水）の午前中、約1時間程度、木村泰子先生が東大村小学校に来てくださり、子どもたちが学ぶ様子を観ていただきました。休み時間には、玄関前で写真も撮ってくださり、とても貴重な時間となりました。御存知の方も多いかと思いますが、木村泰子先生をご紹介します。

木村泰子（きむら やすこ）先生



- ・大阪市立大空小学校の初代校長先生です。
- ・大空小学校は、映画『みんなの学校』になった小学校です。
- ・木村泰子先生は、教育界に新しい風を吹き込んだ実践者として知られています。

すべての子どもに学ぶ権利と可能性があるとの信念のもと、「インクルーシブ教育」を具現化し、子ども主体の学校経営を進められました。その実践は、全国の教育関係者や保護者に大きな影響を与え、数々の講演や著作を通して、広がり続けています。



どの教室も、少しの時間でしたが、木村先生が子どもたちへ向ける眼差しは、傍で見ていて「すごい！」の一言でした。

たくさんのヒントをいただいた時間となりました。（小川）

秋の全国交通安全運動

■期間：令和7年9月21日（日）～30日（火）までの10日間

■全国重点項目

- ①歩行者の安全な道路横断方法等の実践と反射材用品や明るい目立つ色の衣服等の着用促進
- ②ながらスマホや飲酒運転等の根絶と夕暮れ時の早めのライト点灯やハイビームの活用促進

